



保育園に絵本のプレゼント



11月19日、美良布保育園で絵本の贈呈式が開かれました。

これは、香美市婦人会が毎年、香美市の保育園や幼稚園に絵本をプレゼントしているもので、今年は美良布保育園にプレゼントされました。

クリスマスのお話の絵本や、音の出る絵本をもらった園児たちは大喜び。また、当日は婦人会から3名の方が来園され、紙芝居と絵本の読み聞かせもありました。園児たちは、交通安全の紙芝居を真剣に聞いたり、しりとりのお話の絵本では、一緒にしりとりを言ったりと楽しい時間を過ごしていました。



香美市消防署香北分署開庁式

11月10日、香美市消防署香北分署で開庁式が行われました。式には関係者約30人が出席し、高知県危機管理部長、高知県議会議員および香美市議会議員から祝辞がありました。その後、用地をお譲りいただいた地権者の方2名（1名欠席）と設計業者および施工業者に市長から感謝状が贈られました。

新しくなった香北分署は、敷地面積4,777㎡、庁舎の床面積512㎡、自家用給油所の床面積20㎡です。施設の特徴として、大規模災害時に消防活動拠点施設として必要な自家用発電設備および給油施設を併設しています。また、照明を備えた放水訓練場も整備しています。

高知県防犯功労者表彰

10月14日、南国警察署署長室で高知県防犯功労者表彰伝達式が行われました。

今回、高知県防犯協会会長・警察本部長連名表彰を受賞された香美地区地域安全推進員香北支部員の毛利哲三さんは、警察、市町村、関係機関と連携しながら地域住民の安全を図るとともに地域安全活動に尽力されました。

毛利さんは「知らない間に20年近く経っていました。これからも安心安全で暮らせるよう防犯活動を続けがambります」と力強く仰られました。



▲外観



▲給油施設



▲執務室



マーチングで火の用心

令和3年秋季全国火災予防運動期間中の11月15日、パリュエノア店の協力のもと駐車場の一角を使用し、香美市幼年消防クラブ員である土佐山田幼稚園、第二土佐山田幼稚園の園児達がマーチングを披露して火災予防を呼びかけました。

園児は元気いっぱい力強い演奏をし、集まった観客からは温かい拍手が送られました。

秋のおもてなし一斉清掃

10月19日、高知県・高知県おもてなし県民会議が主催する秋のおもてなし一斉清掃が香美市でも行われました。

おもてなし一斉清掃は、美しい環境で観光客をお迎えすることを目的に、高知県内の市町村で行われています。

地元の方や近隣の事業者など総勢120名が参加し、やなせたかし記念館アンパンマンミュージアムや龍河洞などの観光施設周辺、土佐山田町内の商店街などを清掃しました。

参加者は時間いっぱいまで清掃エリアを歩き、植込みや側溝などを入念にチェックしていました。缶やビン、壊れた傘などのゴミを拾ったことで、道がきれいになりました。観光客の方に気持ち良く、香美市を楽しんでいただきたいと思います。



中学生弁論大会

11月12日、中央公民館で第15回香美市中学生弁論大会が開催されました。

青少年の健全育成を願って始まった本大会ですが、昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から入場者を発表者の保護者のみと制限して行われました。

鏡野中学校、香北中学校、大柄中学校の代表者9名による、いじめや差別、環境などをテーマにした発表には、審査員から賞賛の声が上がっていました。

いつまでも健康な歯で！

11月7日、高知県歯科医師会館で令和3年度高知県いい歯の表彰式が行われ、香美市からは高知県知事賞を井上眞一さん(91歳)、鹿取征支さん(81歳)が受賞されました。

お二人に話を伺うと、「私は親知らずは生えなかったので歯は28本あります。子どもの時はしっかり歯を磨くことができなかったのですが、紀元節など節目の時に粉のはみがきを使っていました。歯医者には55歳くらいの時に初めて行きました。90歳になってから、かかりつけの歯医者者に3カ月ごとに行き、メンテナンスをうけるようにしています」と井上さん。

鹿取さんからは「今年で満81歳になります。特別なことを毎日毎日やっていたわけではないです。戦後の物や歯ブラシがない時代で、子どもの時は指に塩をつけて磨いていました。成人して、会社勤めになってからは身体や歯の健診をしてもらって、少し悪くなったら、すぐに治療に行くようにしていました。親知らずを含めた31本が残っていて、固い氷も歯で噛み砕くことができますね」とお話しいただきました。



▶今回受賞された鹿取征支さん(左)、井上眞一さん(右)